

平成31年2月4日

宗像市議会
議長 花田 鷹人 様

総務常任委員会
委員長 森田 卓也

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

記

第1号議案 宗像市立学校空調設備整備PFI事業に係る契約の締結について

宗像市立小学校、中学校及び義務教育学校の空調設備の整備及び維持管理を効率的かつ効果的に実施するため、宗像市立学校空調設備整備PFI事業に係る契約を締結するに当たり、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律の規定により、議会の議決を求めるものである。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 契約の目的 宗像市立学校空調設備整備PFI事業
空調設備の設計、施工、工事監理、維持管理、移設等に関する業務
- 2 履行場所 宗像市立小学校、中学校及び義務教育学校21校の普通教室等
- 3 履行期間 契約効力の発生日から平成44年3月31日まで
- 4 契約価額 10億7,828万3,675円
- 5 契約の相手方 福岡市南区那の川一丁目24番1号
株式会社むなかた学校空調パートナーズ
代表取締役社長 上田 幸二
- 6 契約の相手方の選定は、民間事業者が提案する事業内容、金額等を総合的に評価する方式で行われ、募集に対し1企業グループの応募があった。有識者等からなる宗像市立学校空調設備整備事業事業者選定委員会において審査を行い、評価した結果、この者の事業提案が基準を満たしていたことから落札候補者とする選定がなされた。この選定結果を踏まえ、企業グループが設立したSPC（特別目的会社）株式会社むなかた学校空調パートナーズを契約の相手方とするものである。
- 7 事業提案において、地場企業への発注割合を施工業務費の7割以上とする提案がなされている。
- 8 事業価格についての試算結果は、市が直接工事を行った場合は1教室につきおよそ290万円、PFI方式ではおよそ280万円となっている。

【意見】

(賛成意見)

- 工事の工程を協議する際は、子どもたちの安全・安心な環境をしっかりと確保して調整等を行ってほしい。また、今後、より多くの地場企業がこの事業に参加できること、また、PFI方式の手法が地域の活性化へつながる仕組みづくりを確立することを要望する。
- 本事業は、地域経済の活性化の視点からも非常にメリットの多い事業であるが、構成企業はすべて福岡市内の企業となっている。本来であれば最大限に地場企業の参加を可能とし、市内経済の良好な循環を考えるのが市の役割と考える。今後PFI事業を行う場合は、この手法の財政面等におけるメリットやリスクについて十分に検証、総括し、今後の事業へ役立ててほしい。
- 地場企業が参加しやすい手法を検討してほしい。
- 8月中旬の工事完了はぜひ守ってほしい。PFI事業の総括をしっかりと行い、今後に役立ててほしい。
- 早期の設置完了、地場企業へ最大限の発注が行われるよう努めてほしい。市の直接的な工事であれば内容を審査できるが、PFI方式は、議会、市民の監視が難しく、見えにくくなるため、PFI方式のメリット、デメリットを検討し、事業実施に努めてほしい。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。